

肉用牛大学で学ぶ子牛の飼養管理 ～子牛発育改善による家畜市場価格の向上～

お問合せ先

農業振興普及課
0959-72-5115

五島地域肉用牛大学を生産者、関係機関参集のもと8月と12月に五島家畜市場で開催しました。

8月の講師 松永直行氏からは、「高齢化や廃業農家の増加を背景に全国的に繁殖雌牛が減少し、今後子牛価格が上がる可能性がある。1頭1頭利益を出すために、五島市場全体の子牛出荷体重を上げることが重要である。」と話がありました。

12月の講師 叶有斗氏からは、「子牛発育の改善には分娩前からの母牛の栄養管理が重要である。また出生子牛の胸囲の計測（免疫機能の重要機関である胸腺の発達）が重要である。」と話がありました。

参加者からは「非常に興味深い内容だった」、「聞いた内容を現場で活かしていきたい」などの声が聞かれました。

肉用牛大学は今後も継続して開催し、生産者の皆様により良い情報を提供してまいります。引き続き、積極的な参加をよろしくお願いいたします。



講演会の様子

○第1回内容（8月開催）

演題 【今後の肉用牛改良および経営戦略について】

講師 株式会社松永牧場グループ 農業生産法人 株式会社萩牧場
代表取締役社長 松永直行

○第2回内容（12月開催）

演題 【子牛の発育改善と疾病低減 ～カギは「母牛管理」と「発育の見える化」】

講師 鹿児島県農業共済組合曾於家畜診療センター南部診療所 獣医師 叶有斗

露地野菜のドローン防除を推進！

お問合せ先

農業振興普及課
0959-72-5115

近年、農薬散布の作業負担軽減と省力化を目的としてドローン防除が実施されています。更なる普及拡大を目的に、当地域の主要品目であるブロッコリーとかんしょにおいてドローン防除を実演しました。

ブロッコリーは20aの圃場を約15分で、かんしょは30aを約25分で散布し、省力化と作業時間の短縮効果が確認できました。参加者からは、「散布が早くて驚いた。」「生育が進んで圃場に入れない時期でもドローンであれば防除できそう。」と好評でした。

今後も、防除面積の増加と品目拡大を目指して、関係機関と連携しながら推進・普及を図っていきます。



ブロッコリーのドローン防除



かんしょのドローン防除